

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1592500126		
法人名	社会福祉法人 真心福祉会		
事業所名	グループホーム まごころ		
所在地	新潟県胎内市大出730番地1		
自己評価作成日	令和3年6月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaizokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1592500126-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和3年8月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・令和2年5月1日に開設しました。併設している特養まごころの里きのとの入所者や職員と交流ができ、毎年合同行事を行っています。また、特養看護職員には、皮膚の事で相談したり、介護職員では判断のつかない状況に対してアドバイスをもらっていますし、管理栄養士より食中毒の研修を受けたり、食事について色々と相談に乗っていただける環境となっています。
 ・コロナ禍の中でも工夫して、電話などで入所者の様子などを度々報告し、家族とのコミュニケーションを大切にしています。
 ・毎日のレクリエーションや作業にも力を入れ、月に1回はドライブに出かけたり、おやつを職員と一緒に作るなどしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○人との繋がりを大切に地域での暮らしを目指す事業所
 開設して1年余りの事業所では職員が一丸となり日々暮らしづくりに奮闘している。併設する特養とは広場が見渡せる長い廊下続きになっている。顔なじみの入居者と交流するため、また、気分転換、運動不足を補う散歩道として整備し活用している。毎月発行の広報誌では利用者の様子を沢山の写真で紹介し、家族の来所のおりには暮らしの様子を「タブレット」で伝えている。家族には定期的差し入れや日用品の補充依頼、支援内容などを積極的に連絡をとり、また、窓越しでの家族面談や電話連絡を行いコロナ禍での外出制限、家族や地域との交流が制限されてる中、可能な限り社会との関係継続を丁寧に支えている。全職員は毎日利用者の想いを聞くことに努め、管理者は日頃より職員の意見を聞き・話し合う姿勢を持ち、職員も忌憚ない意見を発信しあっている。「事業所が地域で役割を發揮する関係作りはこれからです」と準備をする職員の声も聞かれた。それぞれの場で人との繋がりを大切に、丁寧に支え、築くよう努め、地域での暮らしづくりを目指している。

○一人ひとりの意向に沿った入浴の支援
 利用者の希望に沿うような入浴支援を行えるよう、ケア会議での話し合いと現場での実践を繰り返して検討されている。現在は、週3回を基本とした上で、利用者の身体状況から、頭が「かゆい」などの訴えには洗髪をしたり、入浴剤を入れた足浴等の柔軟な対応が行われている。入浴の仕方は長湯でゆっくりの利用者など生活習慣を尊重し、楽しみながら安全で快適な時間になるよう継続されている。個々に好みの入浴セットが準備され寛いだ気分で入浴し、職員との会話の場にも繋がっている。

○安心感のある場所の工夫
 併設の特養に繋がるユニット間の一角には、3名座れるソファが配置されており、仲間と共にゆったりと景色を眺めたりお話ししながら寛げる空間となっている。自分の意思で移動し、その人らしく過ごせる場の1つとなるよう工夫と配慮がされている。